



食料の量・質の担保と
生物多様性維持の
両立は可能か？

2024 G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念事業
150th ANNIVERSARY
食料安全保障シンポジウム

Food Security Symposium
2023 4.22 SAT
14:00-16:30
開場 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール（広島大学 東広島キャンパス）
- 対象：どなたでも参加できます。



杉中淳



北島薫



吉崎悟朗



川島一公



水野英則

【司会】 理事・副学長 (教育・平和担当) 広島大学	14:00~	開会挨拶
	14:05~	ビデオメッセージ
	14:10~	基調講演
	14:30~	事例報告
	15:50~	広島大学研究紹介
	16:05~	パネルディスカッション
	16:25~	閉会の挨拶

越智光夫 広島大学長
岸田文雄 内閣総理大臣
日本の食料安全保障対策について 杉中淳 農林水産省 大臣官房総括審議官
1 生物多様性を維持する持続的な農業 北島薫 教授 (京都大学 農学研究科) 熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障
2 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発 吉崎悟朗 教授 (東京海洋大学 海洋科学技術研究科) 生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全
3 新たな食料資源の開発 川島一公 (株)インテグリアルチャー 取締役CTO 環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品 (培養肉) の開発
4 食料安全保障への取り組み 水野英則 (株)サタケ 先行技術本部 本部長 食の安全・安心と質・量を確保する技術
光と熱環境で動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術 杉野利久 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣 (カキ) 増産 小池一彦 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
世界で広がる塩害問題~耐塩性イネを作る試み~ 上田晃弘 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
MC：島田昌之 教授 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)
理事・副学長 (研究担当) 広島大学

事前登録制
参加無料
定員 **500**人

